NIE実践報告

１．タイトル：遠足の壁新聞を作ろう

２．学校名

栃木県足利市立北中学校

３．実践者名（代表者名）

田中利幸

４．学年

第１学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間・学級活動・国語・32名

６．単元（本時の学習課題）名

両毛地区班別自主行動　～Let's try!!　みんなで知ろう歴史と文化と僕らのまち～

７．目標（狙い）

新聞を活用し、遠足の報告の壁新聞を作ることができる。

８．評価の視点

・新聞を活用したり参考にしたりしながら、班や個人で壁新聞を作ることができたか。
・グループで協力して壁新聞作りをすることができたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

全２８時間（総合的な学習の時間１８時間・学級活動９時間・国語１時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

１．自分たちの住む両毛地域について調べ、行き先を決定しながら課題を設定する。（１３時間）
　→文化的施設を５カ所以上回れるよう行き先を考える。
２．調べたことをもとにして班別行動を行い、班で設定した課題を解決する。（６時間）
　→新聞で使えるような使用をもらってきたり、写真を撮ったりする。
３．遠足の壁新聞（模造紙１枚）を班ごとに作り、学年でコンテストを行う。（６時間）
　→生徒の多くは初めてなのでレイアウトは教師が指定する。
　→レイアウトを決めてから文章を書き始める。
　→新聞の見出し（デザインや内容）を参考にさせる。
　→班で分担して協力しながら壁新聞を作る。
４．個人で壁新聞（Ｂ４サイズ１枚）を作る。（３時間）
　→班で作った壁新聞を参考にしながら個人で壁新聞を作る。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

小学校の時に新聞作りをした経験のある生徒もいたが、レイアウト・文字数を決めてから記事を書くという経験がなかったので、文字制限のある文章を書くよい機会にもなった。また自分で見出しを考える際に、実際の新聞の見出しのデザインや内容を改めて見て考え、勉強になったようだ。

12．成果と課題

レイアウトはどの班も同じものにしたために、時間が多くかからずに済みその分文章を書く時間に充てることができた。また、時数の関係により見出しのデザインを行う時間が足りずに、少し地味なものになってしまった班が多かった。その分、個人で壁新聞作りを行ったときにはデザインに力を入れて行うことができた。班で壁新聞作りを行った後に個人で作ったので、文章を書くのが苦手な生徒も取り組みやすそうだった。